

洲 木 土 學 會

第三卷 第四號 七・八月號

目 次

4

就任挨拶	會長	本間 徳雄	1
論説報告			
✓基礎の沈下	正會員	原田 干三	2
✓航空港の建設	正會員	廣谷 仁安	11
資料			
工事單價の季節的影響に就いて	正會員	辰村 國治	30
鐵道の工業標準化と工業品の規格統一	正會員	相澤 房太郎	38
談 話			
國家興産と交通	正會員	町田 義知	44
水部門の展望と康徳9年度事業に就て		橋内 徳自	51
會務報告			
地方委員の委嘱に就いて	書記長	廣岡 勝治	54



滿 洲 土 木 學 會

特許ワーレナイトピチユリシツク舗装

特許ベノリシツク舗装

特許マカダミツクス舗装

アスファルト其他各種舗装並ニ一般土木建築



本社 新京特別市曙町三ノ二

滿洲舗道株式會社 電話 { 3 4766
3 6521

出張所 { 哈爾濱市馬家溝土課街一〇 電話 4 2 5 9
 牡丹江市金鈴街二ノ二 電話 2 3 9 5
 佳木斯市安民街二段地一〇 電話 2 8 2 7

東京事務所 東京丸ノ内日本舗道株式會社内電話(23)4131(3)



會 長

工 學 士 本 間 德 雄 君
(水 力 電 氣 建 設 局 長)



副 會 長

工 學 士 坂 上 丈 三 郎 君
(交 通 部 技 監)



副 會 長

工 學 士 鈴 木 長 明 君
(滿 鐵 理 事 施 設 局 長)

工事用機器及工具新考案

並に新工法、新材料懸賞募集

協和會科學技術聯合部會建設研究部會

時局下土建事業が益々國家目的達成に重要性を増し來れるも一方勞力、資材は次第に厭縮せられ必然的に勞力の節約即勞働能率の増進を又重要資材の節減所謂新土建材料、新工法の研究を要するは當然にして既に各位に於てはこれらの點に就き有爲なる研究多々あるものと信ぜらるゝも徒らに野に埋れて廣く各方面に應用せらるゝことなきは甚だ遺憾とする所なり、此際これが顯揚普及を圖り併て創意工夫を獎勵するを目的として左記要領により懸賞募集致すことゝ相成りたるにつき奮つて應募せられたし。

(1) 募集題目

1. 簡易土工具

改良鶴嘴、スコップ類、簡易土運搬器材(土運車を含む)

2. 簡易煉瓦積モルタル混合機

3. 新土建材料

從來使用し來れる材料入手困難なる爲これに代るべき新材料にして工業製品も可

4. 新土建工法

資材、勞力節約の趣旨に合致する工法若しくは著しく工期を短縮し得る工法の説明書

(2) 應募規定

1. 説明書、設計書、現品等送附するものとす

(現品の輸送困難なる場合はその旨通知乞ふ)

2. 一名何種應募するも可

3. 後日に於ける特許證明所有權及製作權其他權利に關しては一切之を拘束せざるのみならず場合によりてはこれが普及を圖る爲積極的に應援す

4. 送料、其他費用に關しては應募者負擔とし返送を要する場合も亦同じ

5. 送附先

新京特別市交通部内滿洲土木學會氣付

科技聯建設研究部會宛

電話 20 交通部 260 番

6. 切期日

康德 10 年 11 月 20 日

7. 表彰及賞金

各種目を通じ優秀なるものに對し科技聯より表彰の外左記賞金を授與す

1等 1名 200 圓、 2等 2名 各 100 圓、 3等 2名 各 50 圓、

8. 審査委員

科技聯建設研究部會役員

9. 發表方法

康德 11 年 1 月號の土木學會誌、滿洲建築協會誌、滿洲土木建築公會報を以て發表する豫定
以上